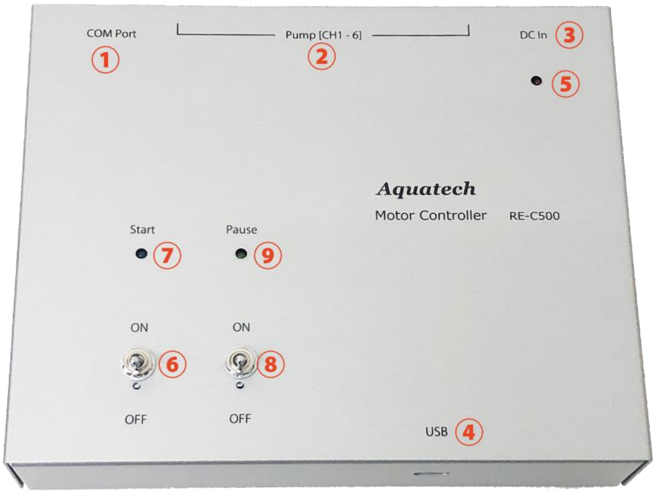
RE-C500/RE-C501 Ring Pump RP-Q-B/Q-C/TX/HXシリーズ用
低電圧バイポーラーステッピングモーターコントローラー製品仕様

品名	低電圧バイポーラーステッピングモーターコントローラー	
機種名	RE-C500：　メイン（親機）コントローラー	
	RE-C501：　増設（子機）コントローラー	
適用Pump	RPーQ-Bシリーズ	RP-Q-Cシリーズ
	RPーTXシリーズ	RP-HXシリーズ
駆動電圧	RPーQ-B/Q-C　Type：VM＝3．0V	
	RPーTX/HX　　Type ： VM＝2．6V	
入力電圧	RE-C500/501：　DC5V　3．0A（AC-DCアダプター：AC100-240V 50/60Hz：付属品）	
制御方式	バイポーラーコイル用電圧駆動方式	
励磁方式	1/4マイクロステップ駆動方式	
モーター速度	1～2000PPS（4Hz～8000Hz）デジタル分周	
機能	PCソフトウェアによる各種制御	
	PROGRAM-MODE	

接続端子　　RE-C500：　サイズ：180×150×42mm



① COM Port端子（子機と接続）
② Pump接続端子（Ch①～⑥）
③ DCーIN接続端子（ACーDCアダプター：付属品）
④ USB接続端子（USB　A-microB：付属品）
⑤ Power-LED（赤）
⑥ Start-SW
⑦ Start-LED（青）
⑧ Pause-SW
⑨ Pause-LED（緑）

接続端子　　RE-C501：　サイズ：180×150×42mm

① COM Port端子（親機と接続：COM Port接続ケーブル付属品）
② Pump接続端子（Ch⑦～⑫）
③ DCーIN接続端子（ACーDCアダプター：付属品）
④ Power-LED（赤）

付属品　　RE-C500：　・Type_Aーmicro_B　USBケーブル
・USBメモリー（PCソフトウェア）
・AC-DCアダプター
RE-C501：　・COM Port接続ケーブル
・AC-DCアダプター

適応機種別：モーター速度（PPS指定）とモーター回転数

RP-Q- B（1/150ギア比モーター仕様）

モーター速度 PPS	1	5	10	50	100	200	300	400	500	800	1000	1100	1200
モーター回転数 rpm	0.02	0.10	0.20	1.00	2.00	4.00	6.00	8.00	10.00	16.00	20.00	22.00	24.00

RP-Q-C(1/ 50ギア比モーター仕様）

モーター速度 PPS	1	5	10	50	100	200	300	400	500	800	1000		
モーター回転数 rpm	0.06	0.30	0.60	3.00	6.00	12.00	18.00	24.00	30.00	48.00	60.00		

RP-TXシリーズ(1/ 135.8ギア比モーター仕様）

モーター速度 PPS	1	5	10	50	100	200	300	400	500	800	1000	1500	2000
モーター回転数 rpm	0.02	0.11	0.22	1.10	2.21	4.42	6.63	8.84	11.05	17.68	22.10	33.15	44.20

RP-HXシリーズ(1/ 50ギア比モーター仕様）

モーター速度 PPS	1	5	10	50	100	200	300	400	500	800	1000		
モーター回転数 rpm	0.06	0.30	0.60	3.00	6.00	12.00	18.00	24.00	30.00	48.00	60.00		

＜特記事項＞

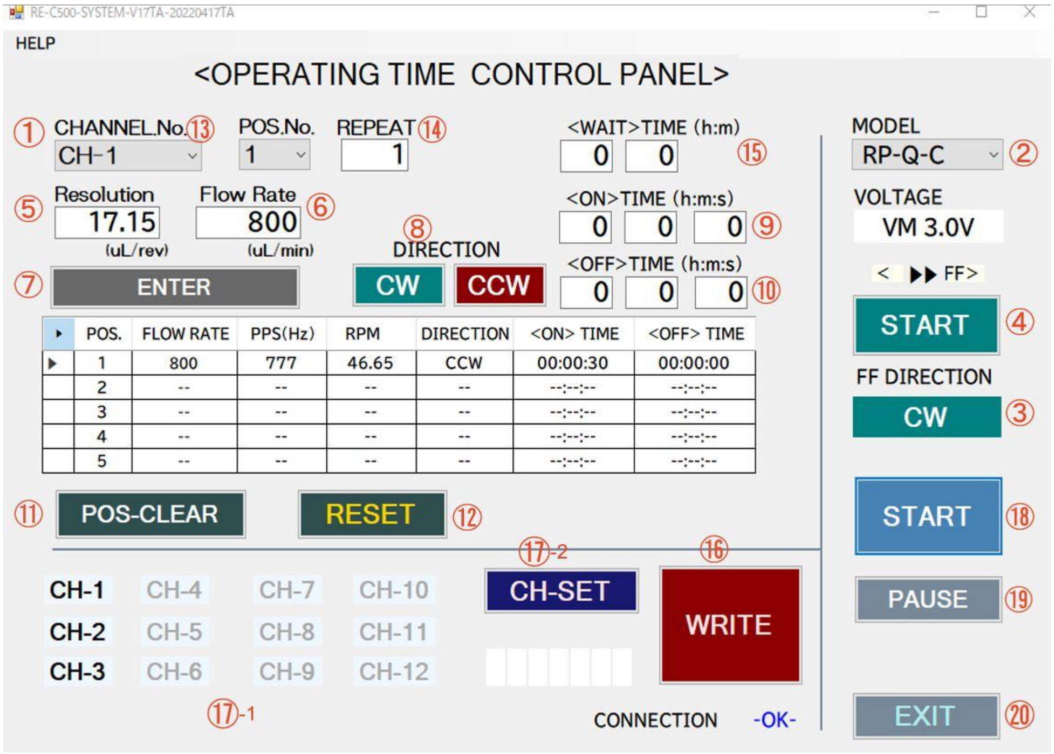
・吐出量：「1回転の吐出量（uL/rev）」を入力下さい。（ポンプ出荷data添付）

・脱調（モーターストップor振動状態）が発生しない範囲での指定制御で使用下さい。

PROGRAM

各種設定による最大12台のPROGRAM動作が可能。

＊メインBOX（親機）＋増設BOX（子機）接続で最大12台接続



＜初期設定＞

① CHANNELの選択　「∨」をクリックして選択

CH1～CH12まで選択可能

② 適用Pumpの選択　「∨」をクリックして選択

RP-Q-B　RP－TX

RP-Q-C　RP－HX

駆動電圧：VM値は自動設定される

RP-Q-B/RP-Q-C　VM＝3.0V固定

RP-TX/RP-HX　VM＝2.6V固定

③ 早送り動作-1　「∨」をクリックして選択　CW/CCWが切り替わる

④ 早送り動作-2　溶液を供給するため適用Pumpの最適の高速動作でSTAT/STOP

＊各CHに接続されたPump－MODELでSTARTして溶液を高速供給する

吐出チューブの先端まで溶液が供給されたらSTOPをクリックする

＜PROGRAM設定＞

⑤ Resolution「uL/rev」入力　Pumpに付属されている「１回転の吐出量（uL/rev）」値を入力する

⑥ Flow Rate 「uL/min」を指定　希望の吐出量(uL/min)を入力する

⑦ ENTER　ENTERをクリックして「Resolution」と「Flow Rate」を確定させる

最適の「PPS値」と「回転数値」が自動計算表示される

⑧ DIRECTION(回転方向)の選択　CW/CCWの指定

⑨ 運転時間　運転時間を設定をする

＊00h00m01s～99h59m59sまで設定可能

⑩ 停止時間　停止時間を設定をする

＊00h00m01s～99h59m59sまで設定可能

⑪ POS-CLEAR　⑬のPOS指定でPOS1～POS5を選択後クリアできる（設定の再入力用）

⑫ RESET　POS1～POS5全てRESETする

⑬ POSを指定　「∨」をクリックして選択

POS1～5までのプログラム条件が設定可能

⑥～⑩の繰り返しで

「⑥吐出量・（PPS ＆ RPMは自動計算表示）・⑦ENTER・⑧回転方向・⑨運転時間・⑩停止時間」

がPOSに反映される

POS1～POS5までのテーブル設定が可能となっている

⑭ REPEAT　設定テーブルPOS1～POS5のREPEAT回数を指定する

1～99回のREPEAT回数を指定入力する（初期値は「1」）

⑮ WAIT TIME(h:m)　各Ch毎にSTART時間をズラす事が可能⇒入力した「h：m」

＜書込設定＞

⑯　WRITE　「PROGRAM」内容を本体のROM（メモリー）へ書き込む（＊書き込んでいる間は「WAIT」）
⑰-1　CH　Pumpを動作させたい「CH」をクリック指定する（CH1～12）と「灰色⇒黒色」に変わる
⑰-2　CH-SET　上記の動作させたいCHを本体のROM（メモリー）へ書き込む

＜動作Mode＞

「本体SW-START」

PCレスで本体のSW（スイッチ）の動作で「START/STOP/PAUSE」させる。

「PC-START」

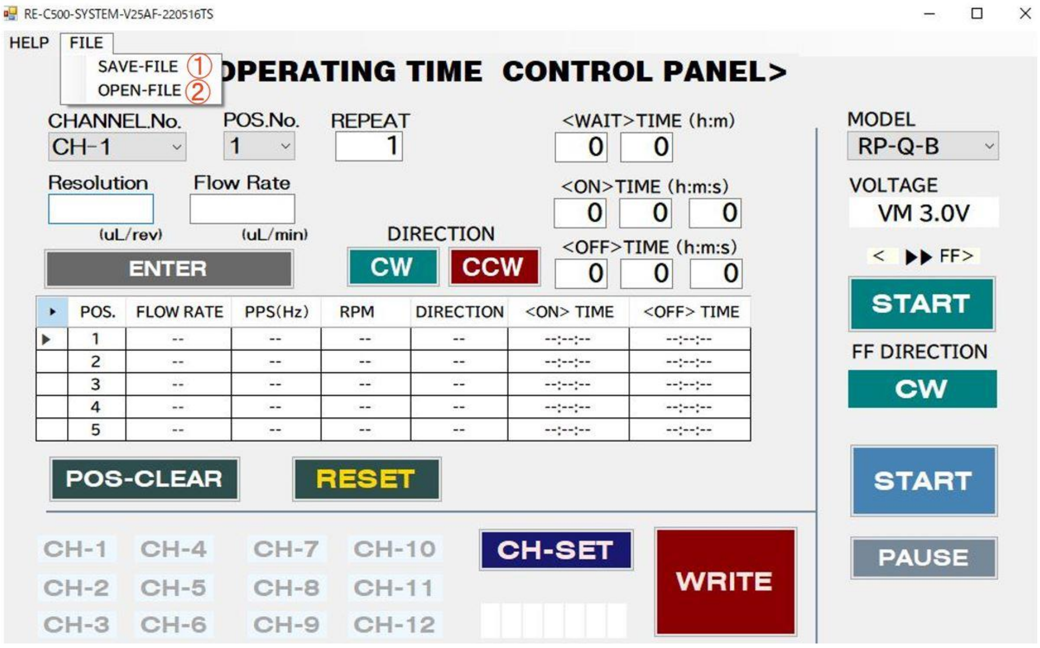
⑱　START　PCに「USB接続した状態」で「START/STOP」動作指示
＊クリック毎に「START」⇒「STOP」と切替わる

⑲　PAUSE　PCに「USB接続した状態」で「PAUSE」動作指示
＊クリック毎に「PAUSE」⇒「RESTART」⇒「PAUSE」と切替わる

⑳　EXIT　PCとの接続を解除する

＊PC側から制御する場合は本体SWの「START」「PAUSE」は必ず＜OFF＞にしてください。動作が不安定になる場合があります。

＜SAVE-FILE / OPEN FILE＞



①　SAVE-FILE　プログラムした内容を保存できます。（任意のファイル名）

②　OPEN-FILE　保存されているプログラムを呼び出します。
＊プログラムを呼び出したら、プログラム内容を「WRITE」キーをクリックして本体に書き込んで下さい。
＊動作させる「CH」を全てクリック（グレー⇒黒色）して「CH-SET」キーをクリックして本体に書き込んで下さい。